

# 熊本

Kumamoto

熊本市 I R 資料

平成27年 10月 熊本市 財政局 財政課



わくわく親善大使：高良健吾さん



# 目次

|  |    |  |
|--|----|--|
| I. 熊本市のプロフィール                            | 1  |  |
| ■ 熊本市の概要                                 | 3  |  |
| ■ 熊本市の特色                                 | 4  |  |
| ■ 熊本市の産業                                 | 5  |  |
| ■ 熊本市の人口動態                               | 6  |  |
| ■ 熊本市への主な評価                              | 7  |  |
| II. 熊本市の市政運営                             | 9  |  |
| ■ 本市総合計画、地方創生について                        | 11 |  |
| ■ 安心して暮らせるまちづくり                          | 12 |  |
| ■ ずっと住みたいまちづくり                           | 13 |  |
| ■ 訪れてみたいまちづくり                            | 15 |  |
| ■ 連携中枢都市圏構想の推進                           | 17 |  |
| ■ 行財政改革の実績・成果                            | 18 |  |
| ■ 行財政改革の取組み                              | 19 |  |
| III. 熊本市の財政状況                            | 21 |  |
| ■ 財政規模（平成27年度当初予算）                       | 22 |  |
| ■ 決算の状況（普通会計 歳入）                         | 23 |  |
| ■ 決算の状況（普通会計 歳出）                         | 24 |  |
| ■ 主な財政指標の状況（平成26年度決算）                    | 25 |  |
| ■ 健全化判断比率の状況                             | 26 |  |
| ■ 市債発行額・公債費・市債残高<br>・プライマリーバランスの状況（普通会計） | 27 |  |
| ■ 基金の状況                                  | 28 |  |
| ■ 特別会計の状況（平成26年度決算）                      | 29 |  |
| ■ 公営企業会計の状況（平成26年度決算）                    | 30 |  |
| ■ 外郭団体の状況（平成26年度決算）                      | 31 |  |
| ■ 財政の中期見通し                               | 32 |  |
| ■ 平成27年度起債計画                             | 33 |  |



熊本城 大小天守閣(中央区)



# 熊本市のプロフィール



夏目漱石内坪井旧居



# I. 熊本市のプロフィール

## ■ 熊本市の概要

- ◆ 平成24年4月1日、全国で20番目、九州で3番目の政令指定都市へと移行
- ◆ 優れた都市環境と豊かな自然環境を併せ持つ魅力ある都市
- ◆ 熊本都市圏(熊本市への通勤通学が10%以上の周辺市町村で構成)人口は、約125万人

### 熊本市の基礎データ (H27.8.1)

- 人口 740,225人  
※熊本都市圏人口 1,252,017人 (H22国勢調査)
- 面積 390.32平方キロメートル
- 人口密度 1,896人/km<sup>2</sup>
- 世帯数 318,149世帯

### 熊本市の沿革

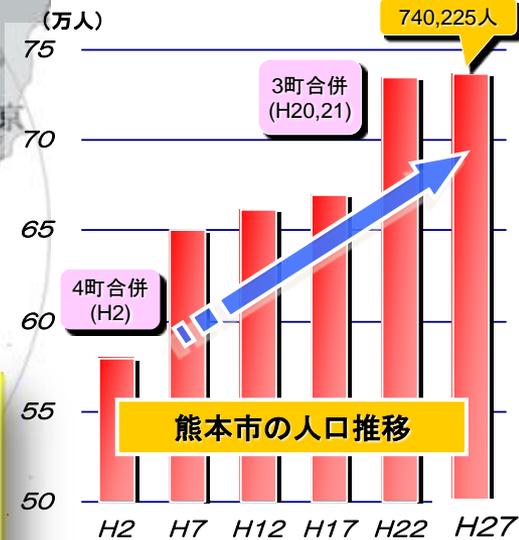
|          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| 明治22年4月  | 市町村制が施行され、熊本市が誕生                    |
| 昭和47年10月 | 「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開                  |
| 昭和51年3月  | 「地下水保全都市」を宣言                        |
| 昭和52年5月  | 人口が50万人を突破                          |
| 平成元年4月   | 市制施行100周年                           |
| 平成3年2月   | 飽託郡4町(北部、河内、飽田、天明)と合併<br>人口が60万人を突破 |
| 平成8年4月   | 中核市へ移行                              |
| 平成19年1月  | 熊本城築城400年祭が始まる                      |
| 平成20年10月 | 下益城郡富合町と合併<br>人口が67万9千人となる          |
| 平成21年4月  | 市制施行120周年                           |
| 平成22年3月  | 下益城郡城南町、鹿本郡植木町と合併<br>人口が73万人となる     |
| 平成23年3月  | 九州新幹線全線開業                           |
| 平成24年4月  | 政令指定都市へ移行                           |



熊本県西部に位置する「天草」



夏目漱石「草枕」の峠の茶屋から望む夕陽



熊本県東部に位置する「阿蘇」



# I. 熊本市のプロフィール

## ■ 熊本市の特色

- ◆ 九州の中央に位置する地理的優位性（九州各主要都市まで約150分圏内）
- ◆ 九州の行政の中心として発展し、国の出先機関の立地多数、大学・医療機関が高集積

### 熊本市内の国の出先機関等

- 九州総合通信局 ● 九州農政局
- 九州財務局 ● 九州森林管理局
- 九州地方環境事務所
- 陸上自衛隊西部方面総監部 等

### 安全・安心な都市環境

- 都市圏において、1904年以降震度5以上の地震は発生しておらず、震災リスクが低い
- 台風の上陸が少なく、冬季の落雷も関東、北陸・日本海側に比べて少ない
- こういった災害リスクの低さから、熊本地方合同庁舎B棟が、南海トラフ地震発生時における九州地方の現地災害対策本部の設置に最も適した施設として位置づけられた

### 教育環境の充実

- 理工系の学部・学科が充実しており、IT・バイオ技術等、多分野において豊富な人材を輩出する学園都市（8大学、1短期大学、27高等学校、44専修学校等）

- 人口1万人当たり大学入学定員 82.3人  
（指定都市20市中6位）



新大阪まで3時間

### 女性が暮らしやすいまち

- 働く人に占める女性の割合、全国第3位（都道府県順位）
- 熊本県内の企業や役所の管理職に占める女性の割合、全国第5位
- 人口は自然増（出生数－死亡数）を続けており、出生率が高い  
⇒ 子どもを生き育てやすい環境

- 合計特殊出生率:1.50（指定都市20市中2位）  
出生率:9.6（指定都市20市中3位）

### 医療環境の充実

- 医療機関が高集積、医師数・救急隊数の充実
- 内科・外科・小児科の365日24時間診療体制を確立

- 人口10万人当たり医師数 413.3人  
（指定都市20市中2位）

# I. 熊本市のプロフィール

## ■ 熊本市の産業

- ◆ 清冽で豊富な地下水と大地が育む豊かな農業
- ◆ 熊本都市圏は、自動車関連企業や電気機器・半導体関連企業が数多く立地する一大集積地

### 豊かな農水産物

- 農業産出額は、指定都市20市中3位（全国8位）
- なす・すいかは、全国1位の産出額
- みかん・メロンの全国有数の産地

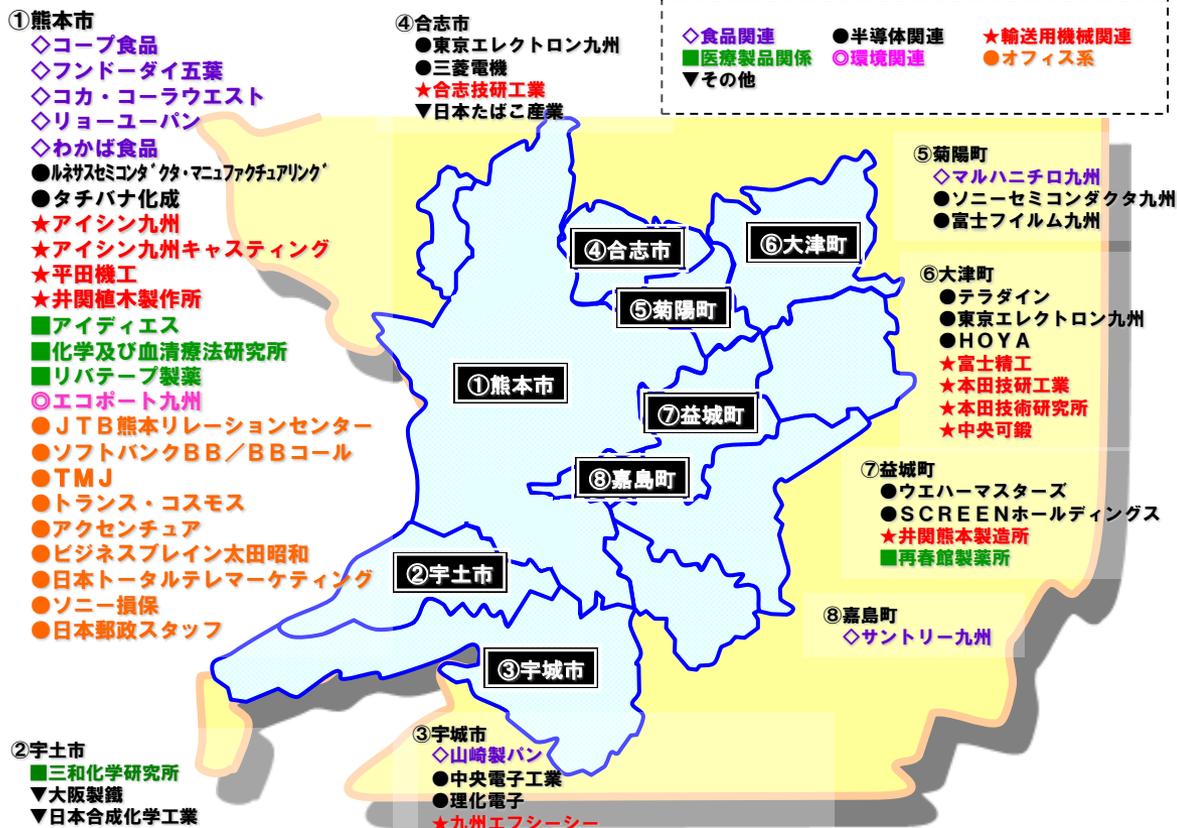


### 産業別就業者比率

- ・ 第1次産業 3.87%（指定都市20市中2位）
- ・ 第2次産業 16.81%（同17位）
- ・ 第3次産業 79.32%（同5位）

※平成22年国勢調査確定値より

### 熊本都市圏の主な立地企業



# I. 熊本市のプロフィール

## ■ 熊本市の人口動態

- ◆ 現在も人口は増え続けており、若い女性の流入が多い
- ◆ 年間出生数は7,000人台で推移しており、出生率・合計特殊出生率も高い水準

### 人口動態の状況 出典: 熊本県推計人口調査 (各年10月1日時点)

(単位: 人)

|             | H22          | H23          | H24          | H25          | H26        |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| <b>人口増減</b> | <b>1,034</b> | <b>1,536</b> | <b>1,679</b> | <b>1,852</b> | <b>663</b> |
| 自然増減        | 1,567        | 796          | 802          | 841          | 700        |
| 出生数         | 7,403        | 7,093        | 7,158        | 7,364        | 7,066      |
| 死亡数         | 5,836        | 6,297        | 6,356        | 6,523        | 6,366      |
| 社会増減        | ▲ 533        | 740          | 877          | 1,011        | ▲ 37       |
| 転入          | 27,276       | 27,735       | 27,698       | 44,120       | 43,028     |
| 転出          | 27,809       | 26,995       | 26,821       | 43,109       | 43,065     |

### 5歳区分別男女別人口増減 (社会増減)

出典: 住民基本台帳人口移動報告 (平成27年4月27日公表)  
(単位: 人)



### 出生率と合計特殊出生率 (平成25年度)

- 熊本市は、指定都市において出生率 (第3位)、合計特殊出生率 (第2位) と高い水準

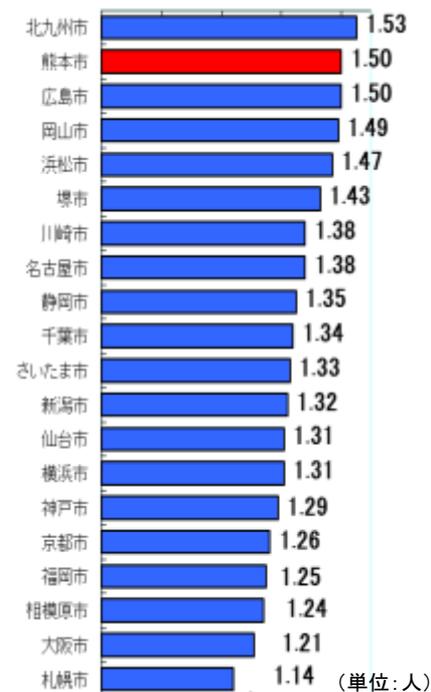
#### <出生率>

人口1000人あたりにおける出生数



#### <合計特殊出生率>

一人の女性が一生に産む子供の平均数





# I. 熊本市のプロフィール

## ■ 熊本市への主な評価

- ◆ 熊本城を中心としたまちづくりの取り組みが、アジア都市景観賞大賞を受賞
- ◆ “行ってよかった！日本の城” ランキング3年連続で第1位！！
- ◆ アジア初、世界で1,000番目のフェアトレード・シティ認定

### アジア都市景観賞

- アジア都市景観賞は、アジアの優れた都市景観の形成に寄与した都市や事業などを表彰する国際賞として、2010年に創設  
アジア人間居住環境協会、国連ハビタット福岡本部、アジア景観デザイン学会、財団法人福岡アジア都市研究所が主催
- 2011年に申請した「熊本城復元整備とまちづくり」について、大賞を受賞

#### <熊本城復元整備とまちづくり>

- 熊本城復元整備の推進や復元整備への特典付寄附（「一口城主」）制度の展開
- 熊本城を生かした街の賑わいの創出
- 熊本城を望む眺望に配慮した景観保全



熊本市の中心部に位置する熊本城



### 本市最大の観光地、熊本城の魅力向上

- 熊本城の入園者数は10年前と比較して、大幅に増加  
（平成26年度の入園者数163万人、全国5位）
- 世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」が実施するランキング“行ってよかった！日本の城2013～2015”にて3年連続で第1位を獲得
- 熊本城のエントランスにあたる地区に、観光交流施設「桜の馬場城彩苑」を整備



熊本城本丸御殿復元  
（昭君之間・大広間）



熊本城本丸御殿での表彰式

行ってよかった！  
日本の城ランキング2015

|    |       |
|----|-------|
| 1位 | 熊本城   |
| 2位 | 松本城   |
| 3位 | 姫路城   |
| 4位 | 松山城   |
| 5位 | 備中松山城 |

### アジア初のフェアトレード・シティ認定

官民協力してフェアトレード製品の推進を行っている都市として認定機関から日本・アジア初、世界で1,000番目の都市として認定。

「フェアトレード」とは

発展途上の国・地域で作られたモノを長期的に、適正価格で購入することで、その国や地域の生活と生産が持続可能になることを目指す、貿易・ビジネス・消費運動や国際協力のこと